



2021年3月期 (2020年4月1日～2021年3月31日) 決算説明資料

ディーバイエックス株式会社
証券コード:3079

目次

1. 当期のハイライト	P3
2. 当期の決算概況	P7
3. 2022年3月期の見通し	P21

1. 当期のハイライト

1(1)決算ハイライト

要約損益計算書

	当期実績 (百万円)	対売上高 (%)	前期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	41,007	100.0	44,653	▲8.2
売上総利益	4,957	12.1	5,534	▲10.4
販管費	4,109	10.0	4,418	▲7.0
営業利益	847	2.1	1,115	▲24.1
経常利益	850	2.1	1,123	▲24.3
当期純利益	572	1.4	792	▲27.7

- ✓ 一部医療機関のコロナ感染症患者治療への専念
- ✓ 医師、関係者、患者様に感染者が出たことによる治療行為自粛
- ✓ 医療機関による感染対策の徹底
- ✓ 行政による緊急性が低い症例の延期要請
- ✓ 外出控えによる外来患者数の減少

得意先病院における
症例数の減少

- ✓ 基幹施設における影響大

1(2)当期の取り組み

①販売拡大

☒ 不整脈事業営業エリアの拡大

- ・高知出張所開設(5月)/長野出張所閉鎖(3月)

②商品ラインアップの拡充

☒ 虚血事業領域の取り扱い商品の新規獲得

- ・陰圧装置の販売開始(10月)

☒ 新たな主力商品の育成

- ・RAQUOSインジェクションシステム薬事認証取得(10月)
- ・(株)iCorNet研究所への出資(1月)

1(2)当期の取り組み

③利益率の改善

- ☒ 仕入先との交渉(インセンティブ契約・買取契約の推進)
- ☒ 高利益率商品の拡販(自社企画品の販売、メーカーの選別)

④償還価格改定への対応(2020.4償還価格改定)

- ☒ 妥結の早期化
- ☒ 販売価格下落分の仕入価格への適正な転嫁

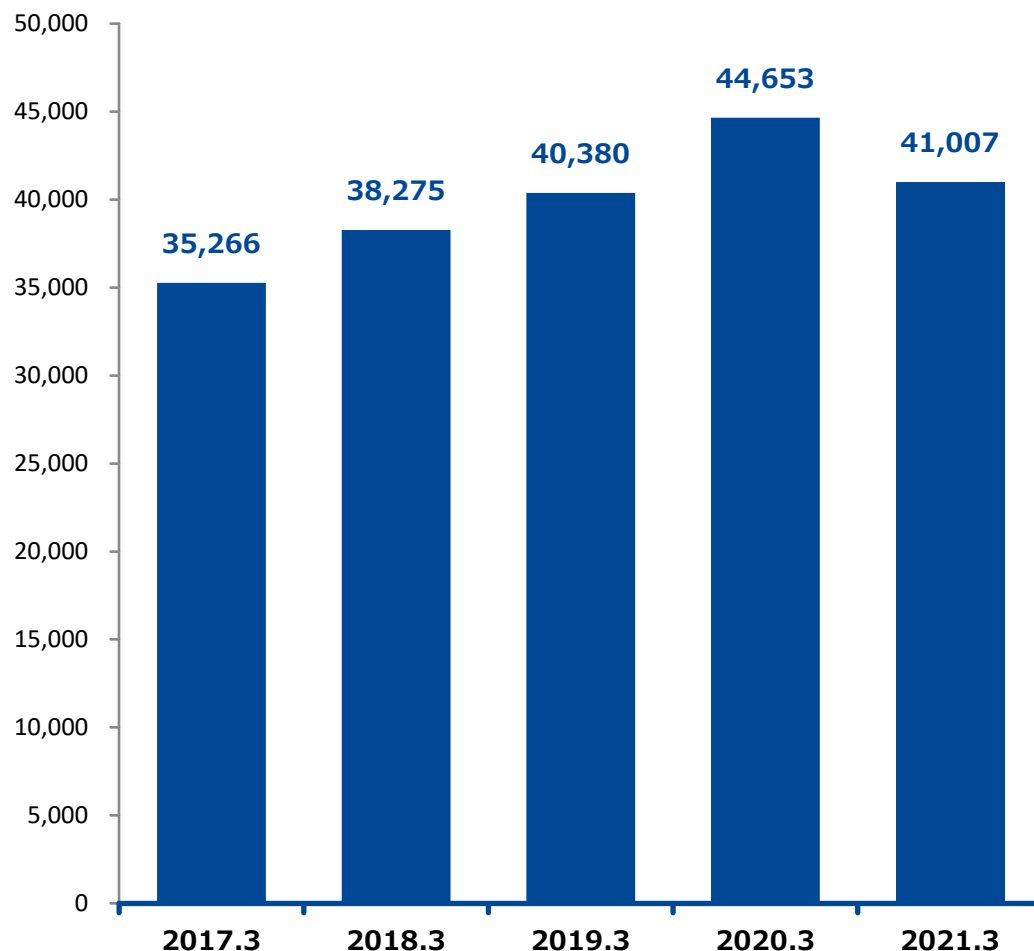
⑤新型コロナウイルス感染拡大への対応

- ☒ 社員の感染防止
- ☒ 事業継続のための集団感染の防止

2. 当期の決算概況

2(1)売上高

(単位：百万円)



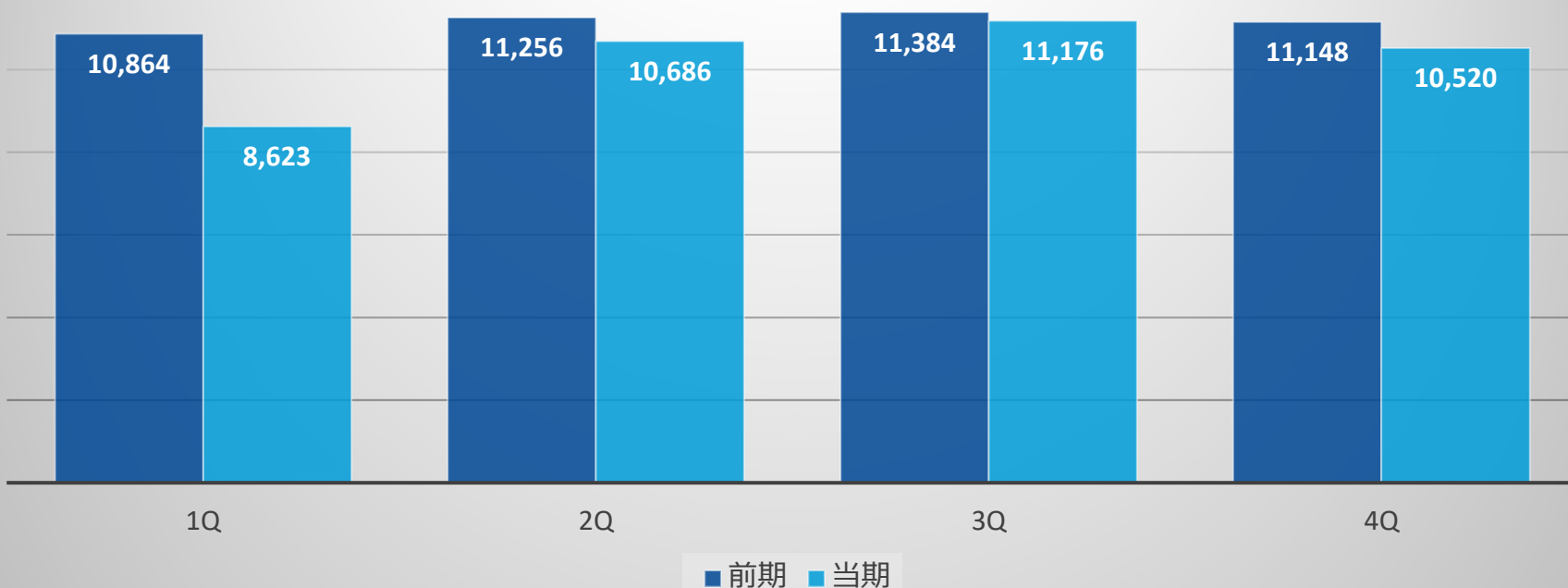
410.0億円
前年同期比 **8.2%減**

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	35,254	▲9.0
虚血	3,197	▲19.7
その他	2,554	+32.9
合計	41,007	▲8.2

2(2)売上高四半期推移

(単位：百万円)

売上高四半期推移

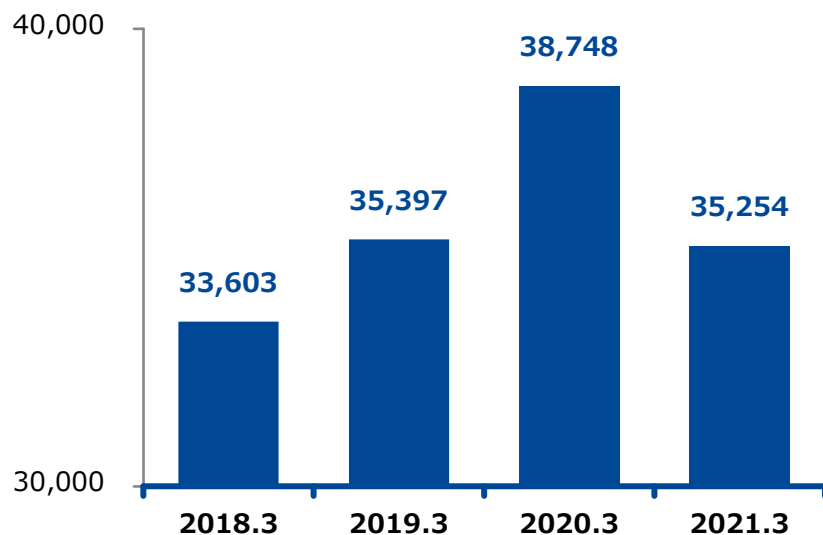


4/7 緊急事態宣言(7都道府県)
4/16 緊急事態宣言(全国へ拡大)
5/14 緊急事態宣言解除(39県)
5/25 緊急事態宣言解除(全国)

1/7 緊急事態宣言(1都3県)
1/13 緊急事態宣言(11都道府県)
2/28 緊急事態宣言解除(除<首都圏)
3/21 緊急事態宣言解除(全国)

2(3)売上高(不整脈事業)

(単位：百万円)



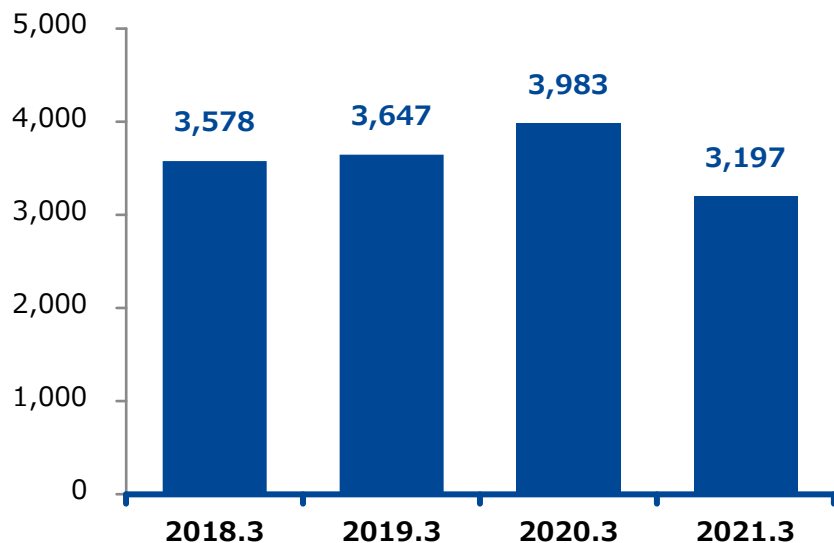
売上高352.5億円
前期比9.0%減

✓ 新型コロナウイルス感染拡大による症例数の減少

	当期 (百万円)	前期 (百万円)	増減率 (%)
PM	3,420	3,575	▲4.3
ICD	1,871	2,300	▲18.6
CRT-D	1,981	1,868	+6.0
電極カテーテル	9,141	10,460	▲12.6
心腔内エコーカテ	3,634	4,088	▲11.1
ABL機能付	5,796	6,036	▲4.0
ABLカテーテル	537	854	▲37.1
冷凍ABLカテ	1,762	2,082	▲15.3
その他	7,108	7,483	▲5.0
合計	35,254	38,748	▲9.0

2(4)売上高(虚血事業)

(単位：百万円)



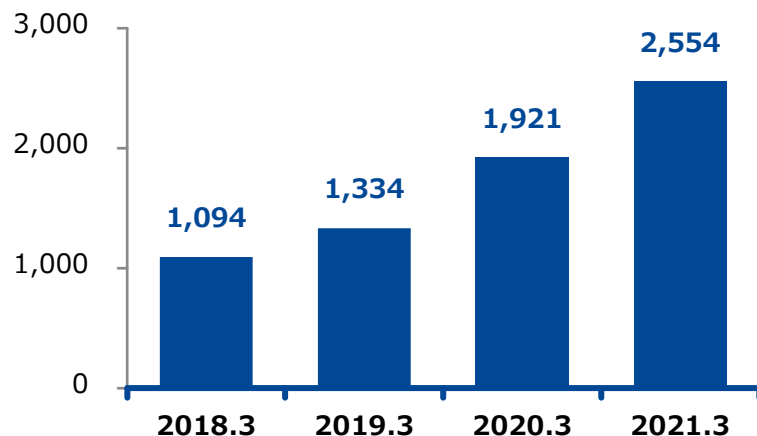
売上高31.9億円
前期比19.7%減

- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大による症例数の減少
- ✓ 新規販売活動の自粛による減少

	当期 (百万円)	前期 (百万円)	増減率 (%)
SPNC (本体)	182	115	+57.4
SPNC (本体以外)	1,079	1,272	▲15.2
SPNC (合計)	1,261	1,388	▲9.2
その他	1,936	2,595	▲25.4
合計	3,197	3,983	▲19.7

2(5)売上高(その他)

(単位：百万円)



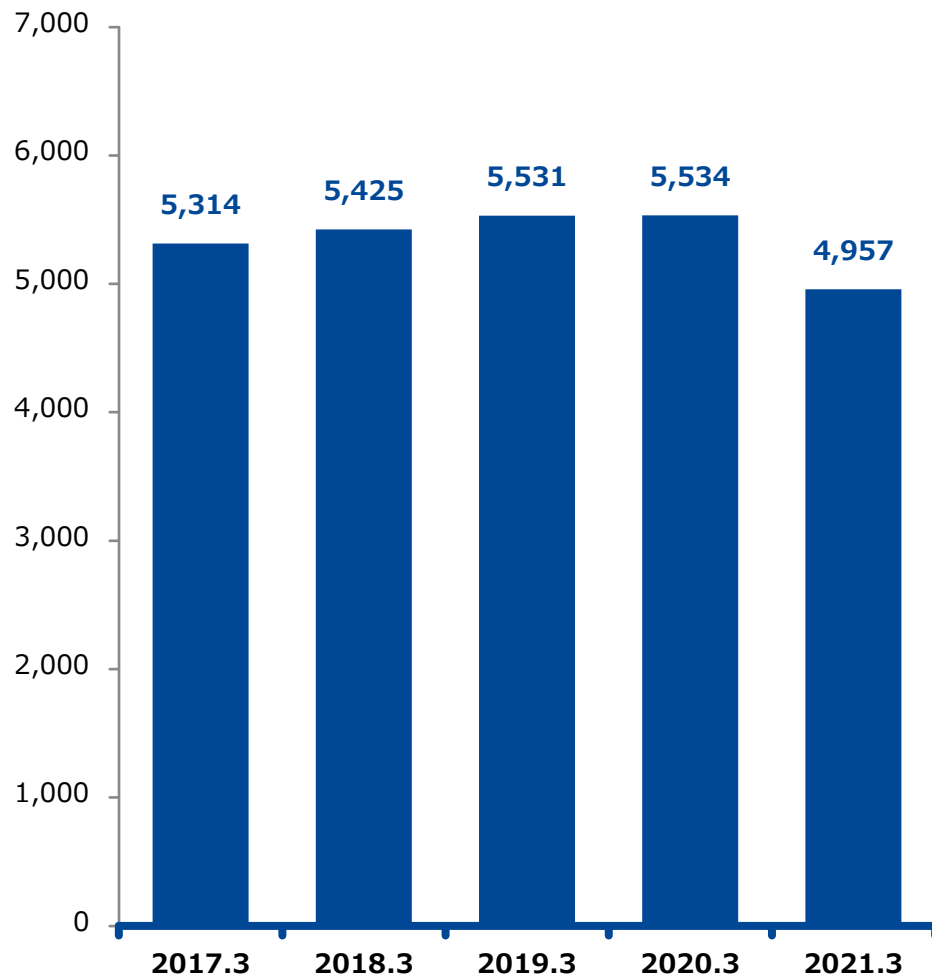
売上高25.5億円
前期比32.9%増

- ✓ 新型コロナウイルスによる症例数減の影響が比較的少なかった
- ✓ 心臓血管外科、脳外科は当社にとって新領域であるため伸びしろが大

	当期 (百万円)
頭部・腹部領域	1,116
心臓血管・胸部領域	928
その他外科	89
その他	420
合計	2,554

2(6)売上総利益

(単位：百万円)



49.5億円
前期比**10.4%減**

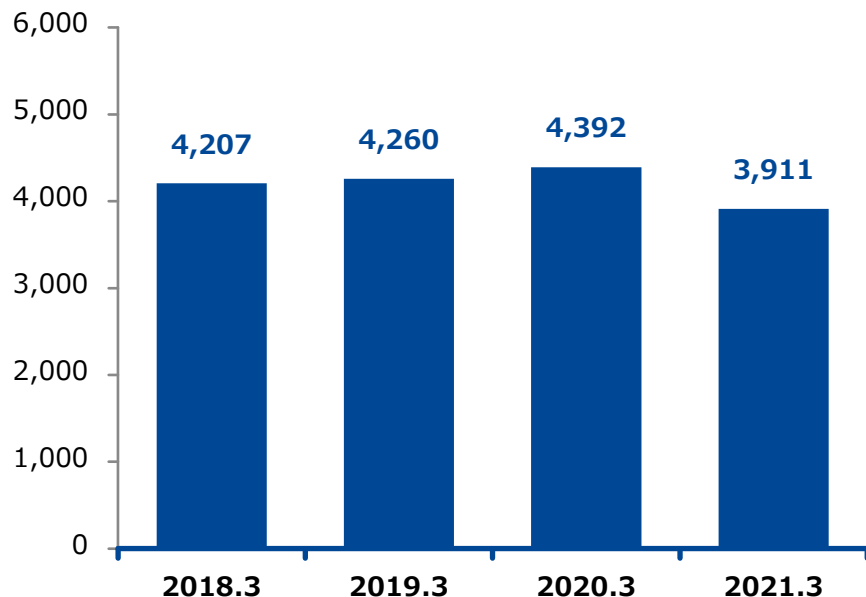
✓ 粗利率12.1%(前期12.4%)

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	3,911	▲10.9
虚血	714	▲16.9
その他	330	+16.9
合計	4,957	▲10.4

2(7)売上総利益(事業別)

不整脈事業

(単位：百万円)

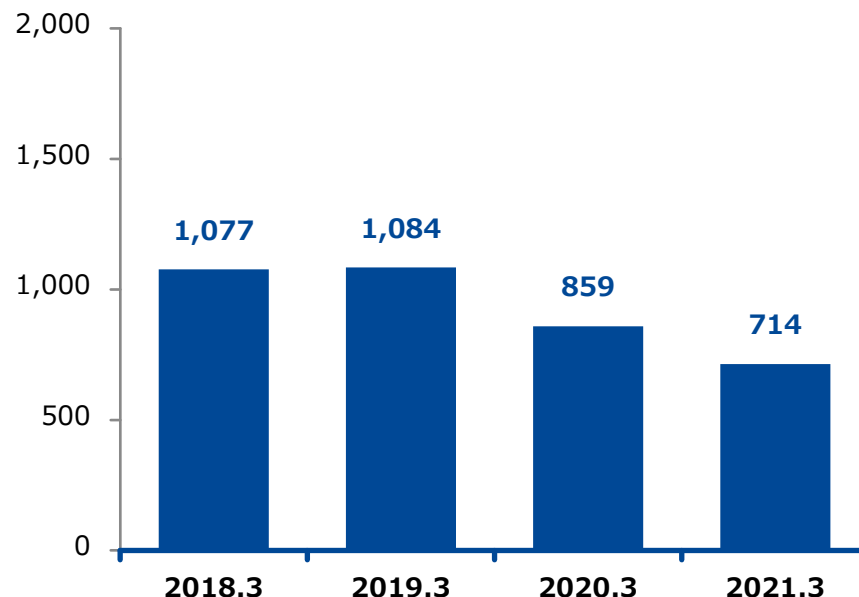


セグメント利益39.1億円
前期比10.9%減

✓ 粗利益率11.1%(前期11.3%)

虚血事業

(単位：百万円)



セグメント利益7.1億円
前期比16.9%減

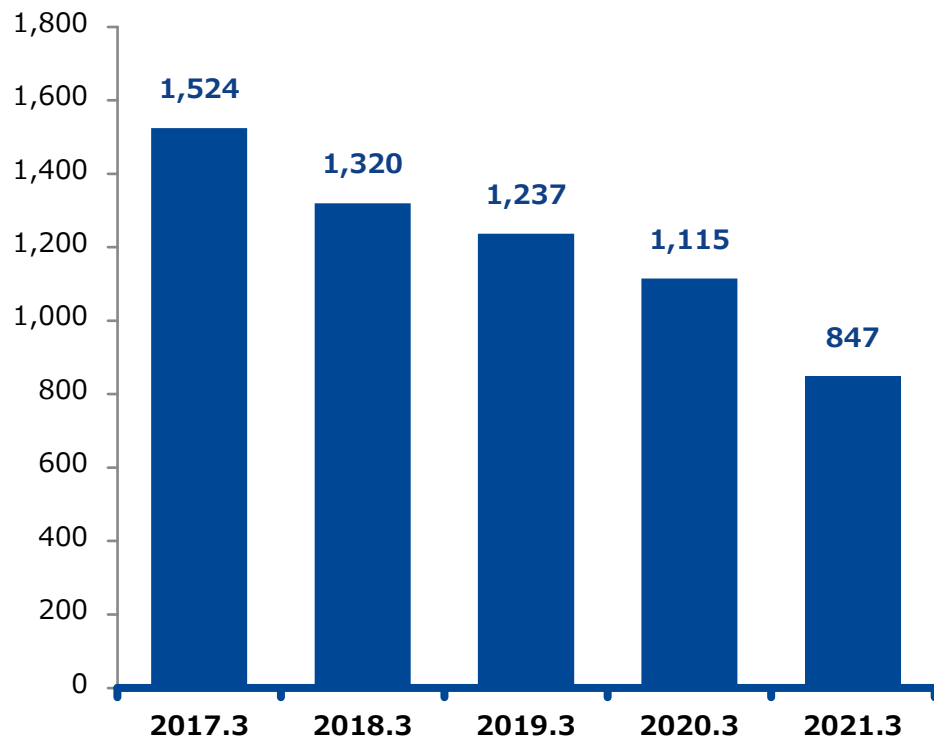
✓ 粗利益率22.4%(前期21.6%)

2(8) 営業利益

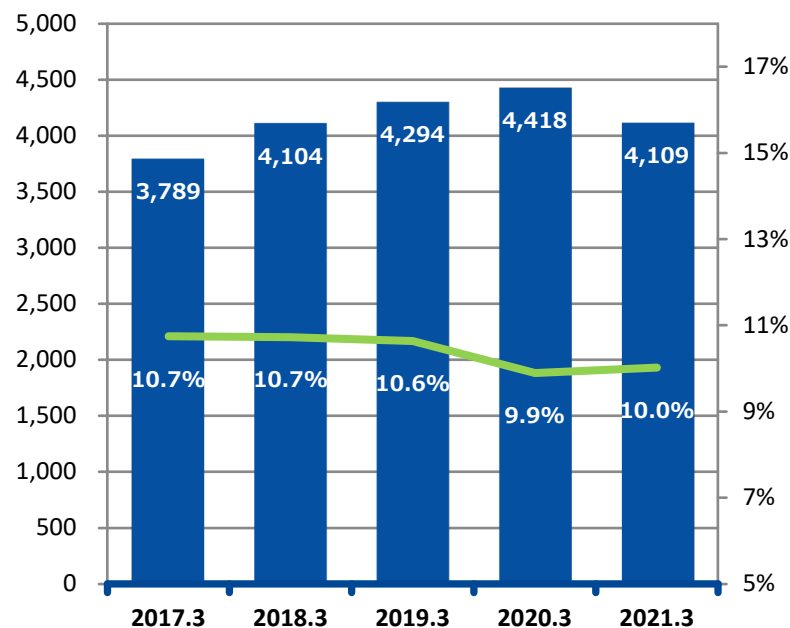
8.5億円
前期比24.1%減

- ✓ 売上総利益 前期比10.4%減
- ✓ 販売管理費 前期比7.0%減
- ✓ 売上高営業利益率2.1%(前期2.5%)

(単位：百万円)

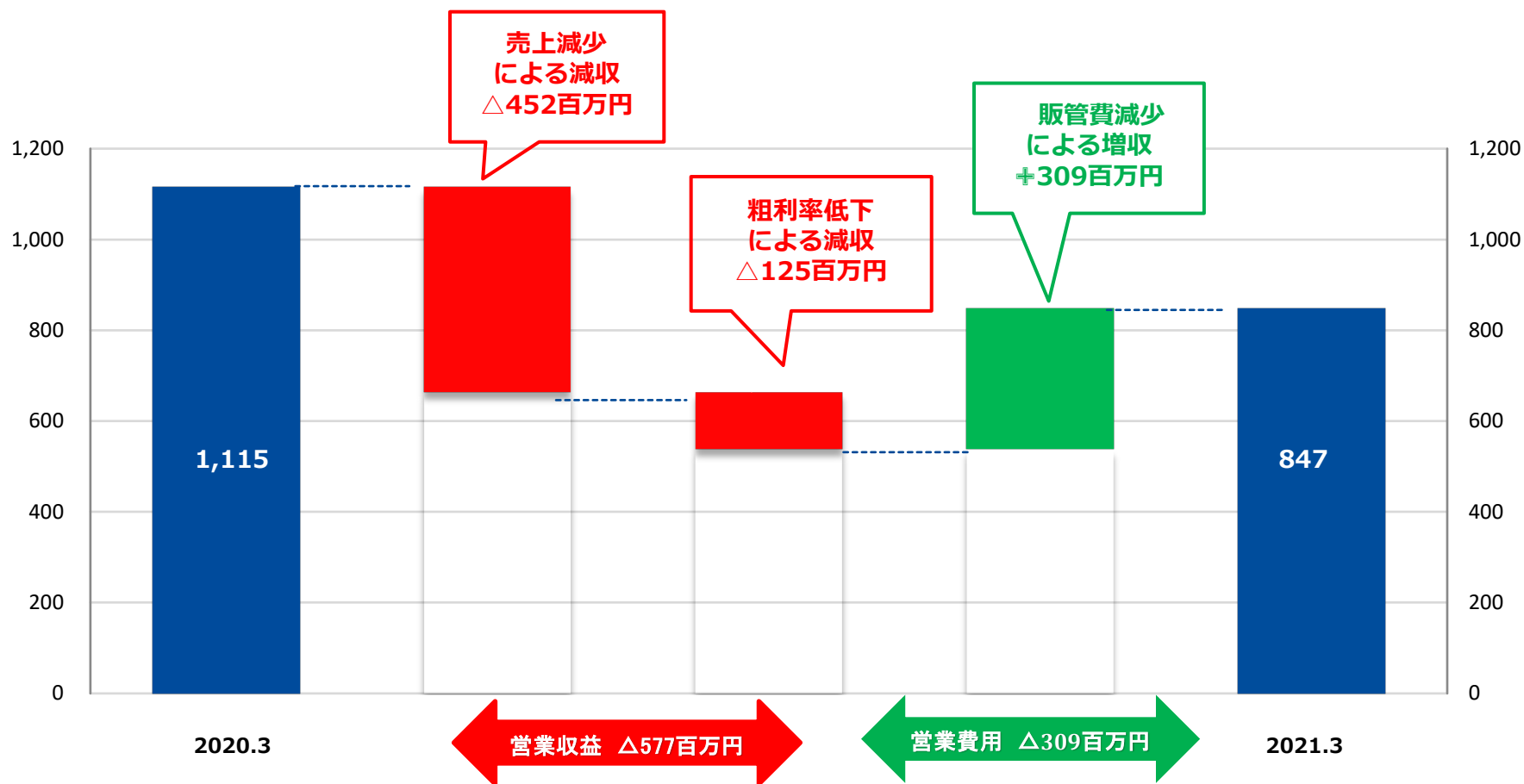


(単位：百万円)



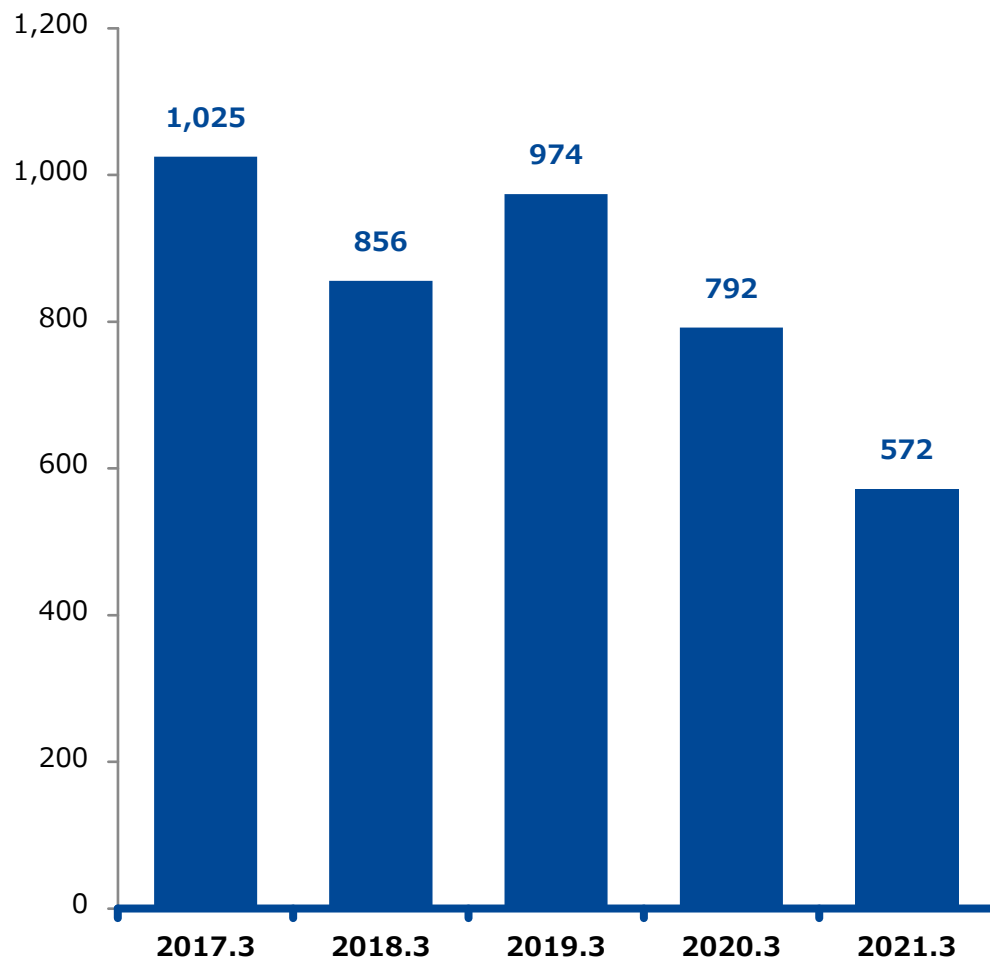
2(9) 営業利益増減分析

売上高減少で4.5億円減少、粗利率低下で1.2億円減少、販売管理費減少で3.0億円の増加



2(10)当期純利益

(単位：百万円)



5.7億円
前期比**27.7%減**

✓ 自己資本当期純利益率7.4%(前期10.5%)

主な損益

✓ 固定資産除却損 5.3百万円

主な前期比増減

✓ 受取保険金 7.3百万円減少

✓ 固定資産除却損 3.8百万円増加

✓ 減損損失 27.1百万円減少

2(11)要約貸借対照表

	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末実績 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
・流動資産	19,176	93.2	18,831	+1.8	㊦ 現預金の増加(1,253百万円) ▲ 売掛金の減少(459百万円) ▲ 商品の減少(430百万円) ▲ 受取手形の減少(83百万円)
・固定資産	1,391	6.8	1,535	▲9.4	▲ 減価償却累計額の増加(328百万円) ㊦ 工具、器具及び備品の増加(170百万円)
資産合計	20,568	100.0	20,367	+1.0	
・流動負債	12,197	59.3	12,373	▲1.4	▲ 買掛金の減少(288百万円) ㊦ 未払消費税等の増加(74百万円) ㊦ 未払法人税等の増加(67百万円)
・固定負債	448	2.2	426	+5.2	▲ 役員退職慰労引当金の減少(68百万円) ㊦ その他の増加(54百万円)
負債合計	12,646	61.5	12,800	▲1.2	
純資産	7,922	38.5	7,566	+4.7	㊦ 自己株式の減少(553百万円) ▲ 繰越利益剰余金の減少(205百万円)
負債純資産合計	20,568	100.0	20,367	+1.0	

2(12)要約キャッシュフロー計算書

	当期 (百万円)	前期 (百万円)	当期の主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,743	1,045	● 当期純利益(845百万円) ● 減価償却費(386百万円) ● 売上債権の減少(503百万円) ● たな卸資産の減少(369百万円) ● 仕入債務の減少(△288百万円) ● 法人税等の支払額(△216百万円)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217	△362	● 有形固定資産の取得による支出(△247百万円)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273	△746	● 配当金の支払(△244百万円)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,253	△65	
現金及び現金同等物の期首残高	5,232	5,298	
現金及び現金同等物の期末残高	6,486	5,232	

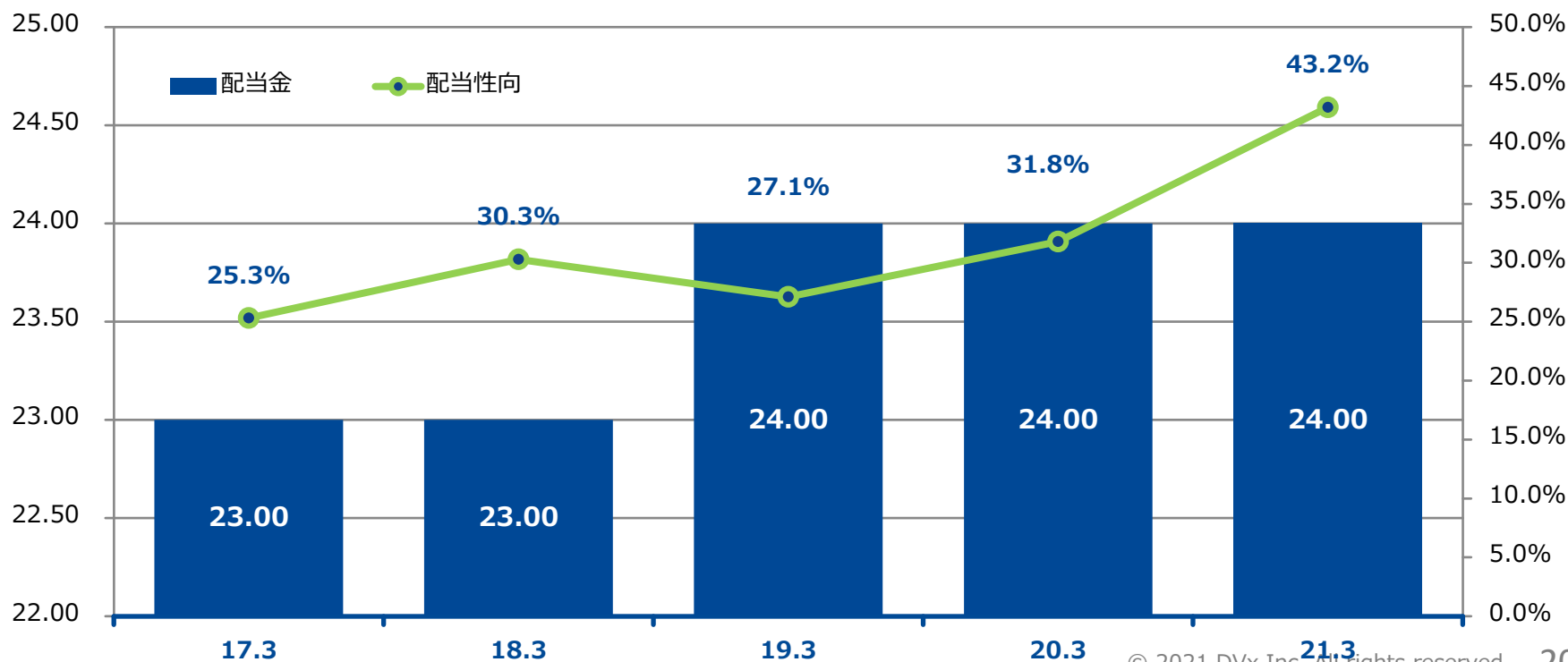
2(13) 2021年3月期 配当

配当方針

継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを
基本として配当を決定する

期末配当 24円 (配当性向 43.2%)

(単位：円)



3. 2022年3月期の見通し

3(1)新型コロナウイルス感染症の影響

2022年3月業績見通しにおける

新型コロナウイルス感染症による影響の前提

- ①第1四半期は新型コロナウイルス感染症による症例数への影響が継続する。東京、大阪、京都を対象に4月25日から開始し、その後対象地域を追加し、期間が5月末日まで延長された緊急事態宣言期間においてはその影響を反映する。
- ②第2四半期は新型コロナウイルス感染症による症例数への影響が継続するが、その影響は第1四半期より軽減する。
- ③第3四半期および第4四半期は新型コロナウイルス感染症による症例数への影響は限定的とする。

3(2)2022年3月期の取り組み

①売上伸長率の向上

- ☒ 施設拡大
- ☒ 品目拡大
- ☒ 医療機関との交渉強化
- ☒ CDR認定教育
- ☒ SUD回収事業

②売上総利益(粗利)率の改善と営業利益の確保

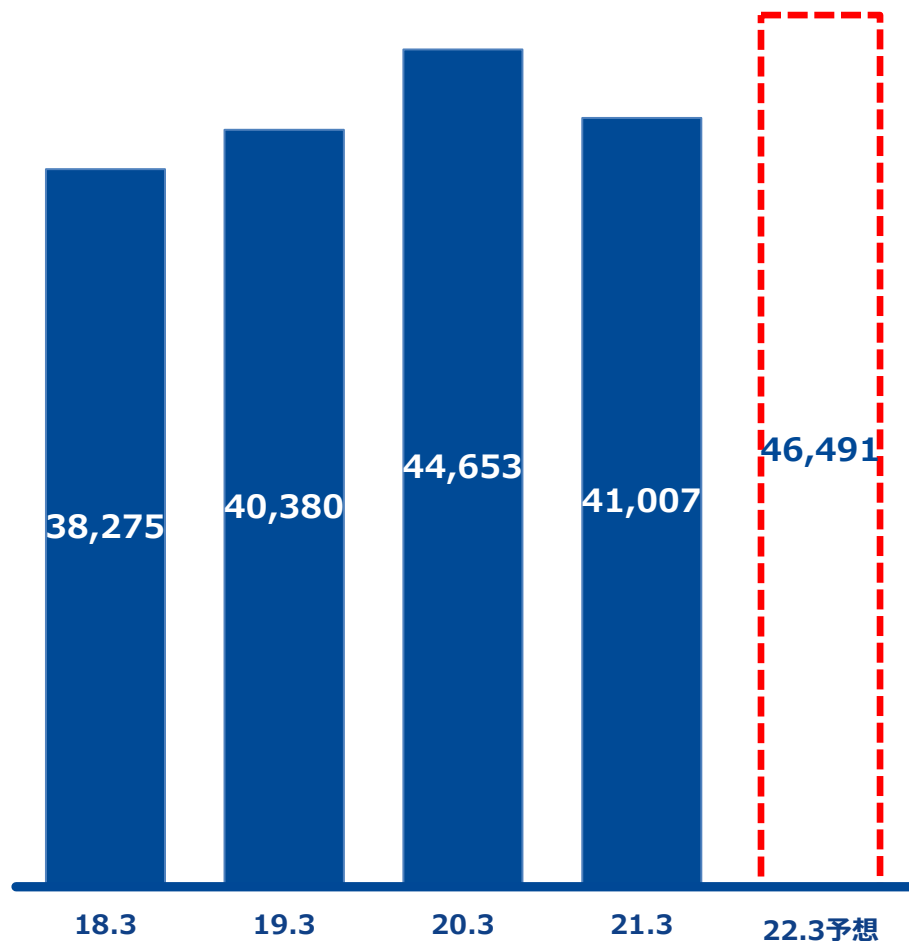
- ☒ 高利益率商品の売上高構成比のアップ
- ☒ メーカーとの交渉強化
- ☒ 拠点単位での適正な営業利益確保

③海外展開の具体化

- ☒ 自社製品について技術的準備、営業的準備のうえ輸出を具体化

3(3)業績予想(売上高)

(単位：百万円)

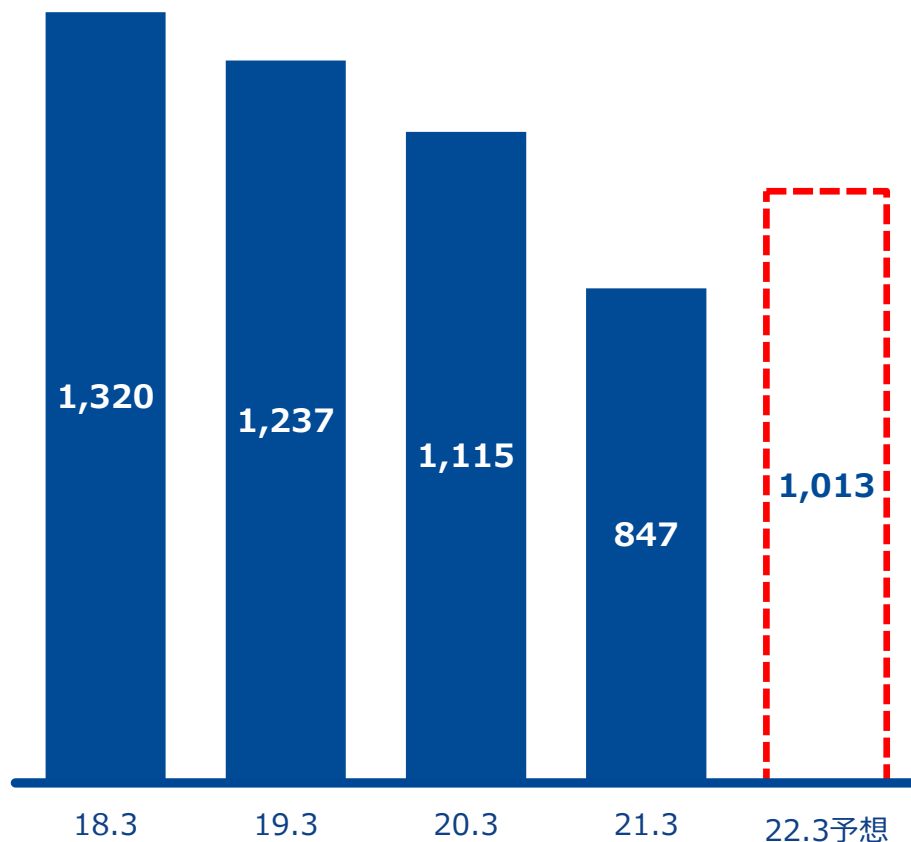


売上高 464.9億円
前期比13.4%増

- ✓ 第3四半期以降は新型コロナウイルス感染症による症例数減少は見込まない
- ✓ 新規施設拡大・商材拡大による売上増加を見込む
- ✓ 新型コロナウイルス感染症による影響が微小であった2020年3月に対して4.1%の増加

3(4)業績予想(営業利益)

(単位：百万円)



営業利益 10.1億円
前期比19.6%増

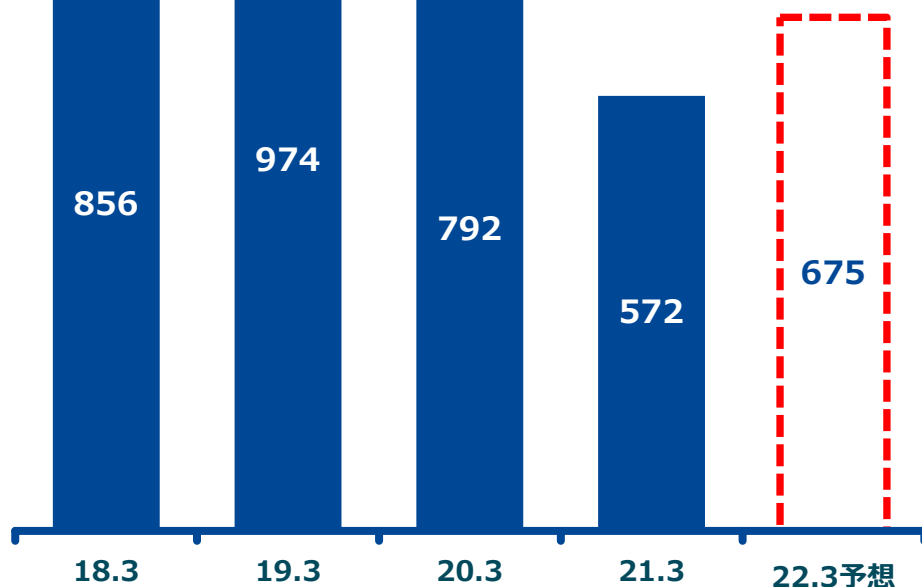
- ✓ 売上高の増加(営業利益増加要因)
- ✓ 売上総利益率の低下(営業利益減少要因)
- ✓ 販売管理費の増加(営業利益減少要因)

3(5)業績予想(当期純利益)

(単位：百万円)

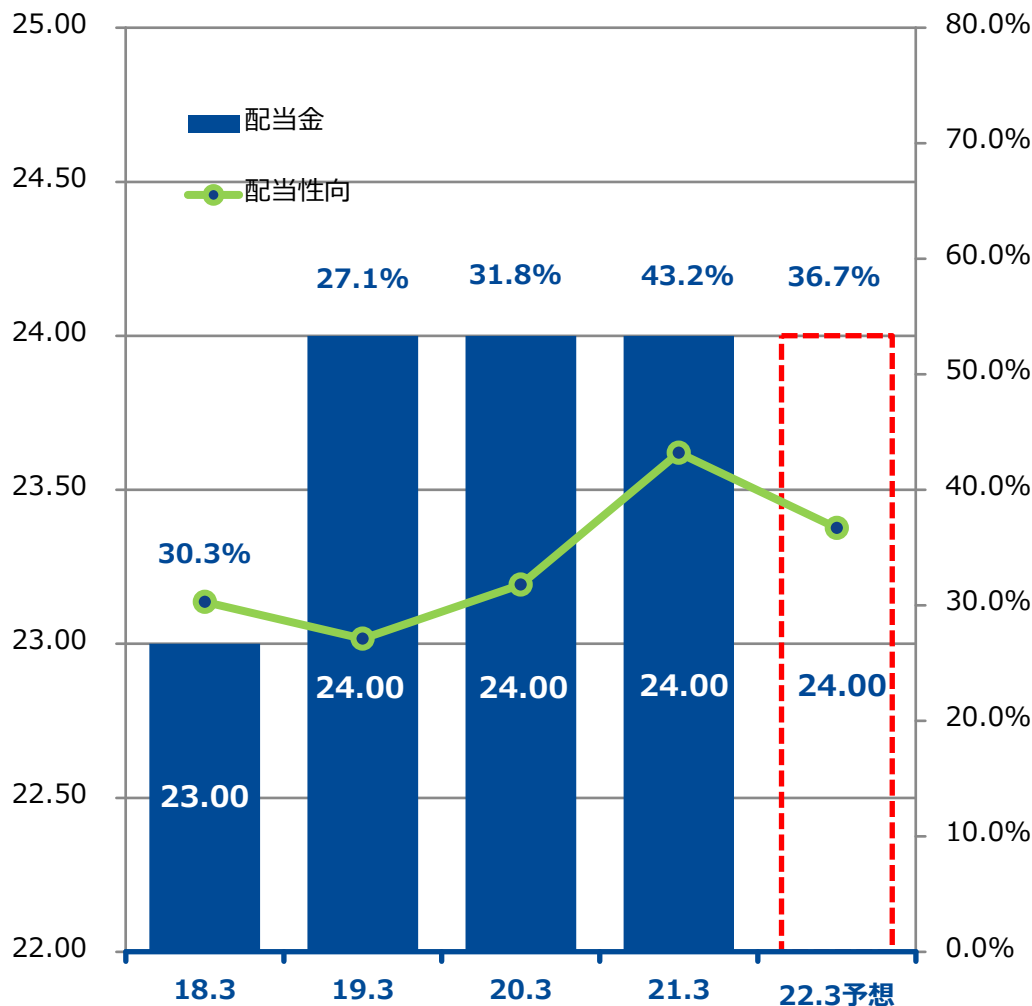
当期純利益6.7億円
前期比18.0%増

予想EPS 65.45円
前期実績 55.60円



3(6) 2022年3月期 配当予想

(単位：円)



期末配当金24.0円
2021年3月期24.0円

配当性向 36.7%
2021年3月期43.2%

配当方針の継続

✓ 継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本として配当を決定する

ご視聴ありがとうございました。

■ I R についてのお問い合わせ先 財務経理部

TEL : 03-5985-6832 FAX : 03-5985-6106 U R L <http://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。